

## 平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月13日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2884 URL http://y-food-h.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 TEL 03(6206)1271  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	5,790	15.9	139	△44.9	165	△41.2	102	△53.7
30年2月期第1四半期	4,997	49.3	253	74.5	280	87.4	221	123.5

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 45百万円 (△79.4%) 30年2月期第1四半期 222百万円 (122.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	4.68	4.62
30年2月期第1四半期	10.15	10.06

※当社は、平成30年2月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割をおこなっております。上記では、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	11,979	4,165	34.8
30年2月期	10,728	4,112	38.3

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 4,163百万円 30年2月期 4,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,686	17.6	259	△26.5	276	△29.0	161	△51.2	7.40
通期	23,278	16.2	555	12.3	580	4.7	363	△13.3	16.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期1Q	21,915,695株	30年2月期	21,875,295株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	2,180株	30年2月期	2,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	21,890,241株	30年2月期1Q	21,814,537株

※当社は、平成30年2月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割をおこなっております。上記では、前連結会計年度期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定し、平成30年2月期第1四半期の期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用情勢の改善等により、緩やかながらも回復基調を続けてまいりました。しかしながら、保護主義的風潮の広がりから貿易戦争の様相を呈するなど、先行きの不透明感は払拭できないまま推移しております。

食品業界におきましては、食料品やガソリン等の価格上昇から消費者の節約志向は強まっており、直近の消費動向に影響を及ぼしております。また、食の安心・安全に対する社会的関心の高まりの他、採用難による人件費の高騰および経営者の高齢化による事業承継問題等多くの課題が山積しております。

このような環境の下で当社グループは、M&Aによる事業拡大を図るとともに、傘下企業において積極的な設備投資や新商品の開発を推進してまいりました。また、グループのリソースと当社の各支援機能（中小企業支援プラットフォーム）を有機的に結合し収益の最大化を図るとともに、経営効率の高い組織づくりに注力するなど、企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,790,459千円（前年同期比15.9%増）となりました。利益につきましては、M&A関連費用等を計上した結果、営業利益139,724千円（同44.9%減）、経常利益165,235千円（同41.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益102,416千円（同53.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 製造事業

製造事業につきましては、積極的な設備投資および「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、新商品の開発や販路の拡大等の取り組みをおこなってまいりました。

また、前連結会計年度後半より新たにグループ企業となった株式会社ヤマニ野口水産、JSTT SINGAPORE PTE. LTDおよび当期よりグループ企業となった株式会社おむすびころりん本舗が収益面で寄与したこと等により、売上高は4,542,582千円（前年同期比16.4%増）となりました。

利益につきましては、主力企業において、原材料価格の高騰および労務費が増加したこと等により、195,192千円（同35.6%減）となりました。

#### ② 販売事業

販売事業につきましても、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への販売強化および企画提案力の向上に注力してまいりました。

その結果、主要得意先への販売が好調に推移したこと等により、売上高につきましては、1,247,877千円（前年同期比14.0%増）、利益につきましては、販売子会社の本社移転費用等が発生したことにより、50,383千円（同1.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,979,308千円となり、前連結会計年度末に比べて1,251,085千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加512,388千円、受取手形及び売掛金の増加322,338千円、原材料及び貯蔵品の増加165,078千円および有形固定資産の増加120,983千円があったことによるものです。

負債は7,813,881千円となり、前連結会計年度末に比べて1,198,408千円増加しました。これは主に、借入金等の増加545,196千円および買掛金の増加494,283千円があったことによるものです。

また、純資産は4,165,426千円となり、前連結会計年度末に比べて52,677千円増加しました。これは主に、資本金の増加3,434千円、資本剰余金の増加3,434千円および利益剰余金の増加102,416千円があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成30年4月13日付「平成30年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表しました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,598,471	2,110,859
受取手形及び売掛金	2,752,974	3,075,312
商品及び製品	1,662,163	1,862,528
原材料及び貯蔵品	765,616	930,694
その他	129,577	139,202
貸倒引当金	△5,725	△6,102
流動資産合計	6,903,077	8,112,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,688	734,375
機械装置及び運搬具(純額)	561,362	687,695
その他(純額)	827,471	814,435
有形固定資産合計	2,115,523	2,236,507
無形固定資産		
のれん	1,325,447	1,243,938
その他	54,070	65,868
無形固定資産合計	1,379,517	1,309,807
投資その他の資産		
その他	417,231	408,060
貸倒引当金	△87,126	△87,561
投資その他の資産合計	330,104	320,498
固定資産合計	3,825,145	3,866,813
資産合計	10,728,222	11,979,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,559,898	2,054,181
短期借入金	1,370,000	30,000
1年内償還予定の社債	24,500	15,000
1年内返済予定の長期借入金	787,390	908,873
未払法人税等	122,343	80,765
未払消費税等	45,248	54,629
賞与引当金	94,298	128,152
その他	846,588	1,051,909
流動負債合計	4,850,267	4,323,511
固定負債		
社債	65,000	60,000
長期借入金	1,506,871	3,285,084
退職給付に係る負債	45,700	20,764
その他	147,633	124,520
固定負債合計	1,765,205	3,490,369
負債合計	6,615,473	7,813,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,059,447	1,062,881
資本剰余金	1,248,220	1,251,654
利益剰余金	1,775,156	1,877,572
自己株式	△606	△606
株主資本合計	4,082,218	4,191,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,896	6,770
為替換算調整勘定	24,074	△34,406
その他の包括利益累計額合計	28,970	△27,635
新株予約権	1,560	1,560
純資産合計	4,112,749	4,165,426
負債純資産合計	10,728,222	11,979,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	4,997,076	5,790,459
売上原価	3,839,633	4,450,993
売上総利益	1,157,443	1,339,465
販売費及び一般管理費	903,914	1,199,741
営業利益	253,529	139,724
営業外収益		
受取賃貸料	3,500	4,566
補助金収入	5,192	1,946
保険解約返戻金	9,496	8,000
その他	13,546	16,288
営業外収益合計	31,735	30,801
営業外費用		
支払利息	3,333	5,003
その他	1,035	287
営業外費用合計	4,368	5,290
経常利益	280,896	165,235
特別利益		
固定資産売却益	49	532
特別利益合計	49	532
特別損失		
固定資産除却損	1,819	—
特別損失合計	1,819	—
税金等調整前四半期純利益	279,126	165,767
法人税、住民税及び事業税	92,528	55,451
法人税等調整額	△34,743	7,899
法人税等合計	57,784	63,351
四半期純利益	221,341	102,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,341	102,416

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	221,341	102,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,288	1,874
為替換算調整勘定	—	△58,481
その他の包括利益合計	1,288	△56,606
四半期包括利益	222,629	45,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,629	45,809
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,902,441	1,094,634	4,997,076	—	4,997,076
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,721	325,583	362,304	△362,304	—
計	3,939,163	1,420,218	5,359,381	△362,304	4,997,076
セグメント利益	303,011	51,241	354,252	△100,723	253,529

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,542,582	1,247,877	5,790,459	—	5,790,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	69,669	304,782	374,452	△374,452	—
計	4,612,252	1,552,659	6,164,912	△374,452	5,790,459
セグメント利益	195,192	50,383	245,576	△105,852	139,724

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。